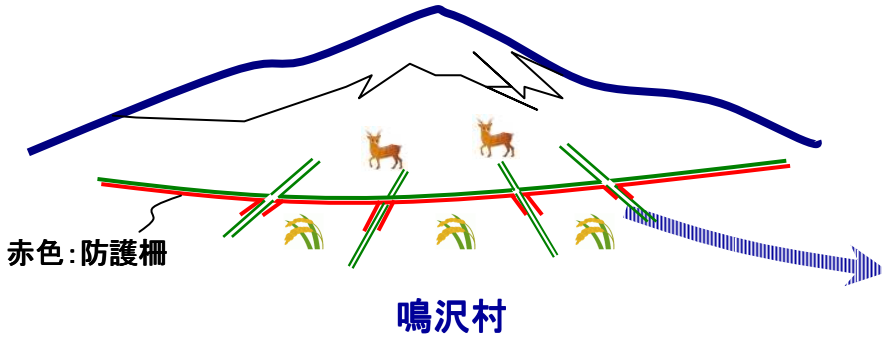
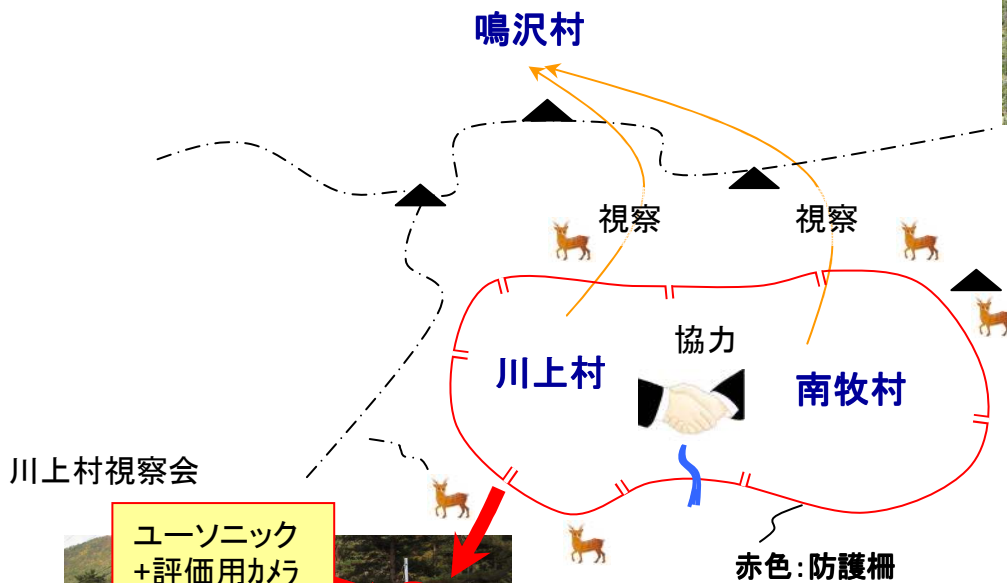


山裾を走る主要道路にフェンスを設置し、鹿などの動物の生活区域と耕作区域を分断するが、主要道路と山へ登る道路の交差点の開口部からの害獣の侵入するため、ここに、鳥獣撃退装置「ユーソニック」を導入、周辺地域でも採用が始まりました。現在、南牧村の防護柵は80Kmに達し、道路や河川によりできた防護柵の開口部にユーソニックを設置し害獣対策を実施し成果を出しています。



鳴沢村設置例



この地域の導入状況

鳴沢村	7台
南牧村	9台
川上村	8台
計	24台

川上村視察会



役場関係者や農業組合関係者による評価結果報告会の様子 2010.10.22

導入評価の記事

2010年4月20日信濃毎日新聞より



シカの食害対策で、南牧村の村道脇に設置された超音波機器

超音波でシカ食害対策

南牧村機器導入に補助

南牧村は、シカによる食害対策で、シカの嫌がる超音波を出す機器を試験的に導入する農家への補助を始めた。この春から1年かけて効果を検証し、結果によっては来年度から本格的な利用につなげる予定だ。県内での設置は現在のところ同村だけ。

「人体に影響はない」という。10日には同村梅尻の村道脇に鉄柱が立てられ、約3分の高さで1台が設置された。村道に向けて10秒間隔で毎日24時間流す。村内はほかにも2カ所に取り付けてあり、5月中旬に数台増える予定だ。1台約50万円から、設置農家に村が半額を補助する。購入は2009年度に済んでおり、事業費は100万円。

県佐久地方事務所によると同村内のレタスやハクサイへのシカの被害は07年度が約770万円、08年度は約115万円と年々増加。村は08、09年度の2年間で山林から畑に入ってきたような金属製フェンス約50mを村内全域に設置した。道路から侵入するシカを防ぐため、機器導入への補助に踏み切った。

主な経過

- 2006年秋 シカの評価実験開始
- 2007年 2月 エゾシカで実験効果無し
- 2007年 4月 沼田のシカ牧場で再度実験効果無し
- 2008年 6月 実験中断
- 2009年 3月 山梨県鳴沢村から打診 : 実験再開
- 2009年 5月 沼田市のシカ牧場で嫌がる音を発見
- 2009年 11月 鳴沢村、装置を2台追加し合計3台納入
- 2010年 3月 南牧村 装置1台で評価開始
- 2010年 10月 鳴沢村、装置を4台追加し合計7台納入
その後 順次設置が広がる。
- 2012年 5月まで合計12回の受注で24台が導入。